

第11回瀬戸内海考古学研究会大会

西部瀬戸内と海

海に生き、海を繋ぎ、海を越える人々

2025年6月14日－15日

会場 愛媛大学城北キャンパス
共通講義棟B-201
(松山市文京町3)



6月14日(土) 12:00 開場

- 13:00～13:10 開会・代表挨拶(下條信行)
- 13:10～13:50 「陸と海から古瀬戸内旧石器時代を見直す」(森先一貴)
- 13:50～14:30 「縄文時代草創期/早期移行期の芸予諸島－上島町宮ノ浦遺跡の調査成果より－」(村上恭通)
- 14:50～15:30 「弥生時代・瀬戸内の南北交流－芸予を例に－」(伊藤 実)
- 15:30～16:10 「西部瀬戸内系器台の西への広がりについて」(松村さを里)
- 16:10～16:50 「西部瀬戸内地域における朝鮮王朝陶磁器」(益田千遥)
- 18:30～20:30 懇親会 Vala KIELO(松山市大街道1-1-8)

6月15日(日) 8:30 開場

- 9:10～9:50 「中四国地方の古代製塩土器－西部瀬戸内地域と山陰地域を中心として」(福本佳織)
- 9:50～10:30 「朝鮮半島系土器からみた古墳時代日韓交流における西部瀬戸内」(松永悦枝)
- 10:50～11:30 「西部瀬戸内を越えて－中世後期貿易陶磁器の流通－」(柴田圭子)
- 11:30～11:40 閉会挨拶(谷若倫郎)

【参加費】 無料、資料代1000円

【懇親会】 氏名・所属・連絡先を明記の上、6月7日までにメールかはがきで事務局までご連絡ください。

事務局: 〒790-0861 松山市紅葉町2-57 下條信行方
Eメール n.shimojo-kouko@aroma.ocn.ne.jp

主 催 瀬戸内海考古学研究会

共 催 愛媛大学考古学研究室・アジア古代産業考古学研究センター